

会報

通常総会議事報告

一般社団法人 溶接学会 第80回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成24年4月11日(水) 10:00～12:00

場所 ATC(アジア太平洋トレードセンター) 大阪市住之江区南港北2-1-10

平成23年度事業報告及び会務報告

(平成23年3月1日から平成24年2月29日まで)

平成23年度において本会は次の事業を行った。

I 事業報告

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成23年4月20日～22日：学術総合センター（東京）

研究発表講演（94件）、特別講演（1件）、シンポジウム（講演7件）、フォーラム（講演7件）、ロードマップシンポジウム
参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成23年9月7日～9日：皇學館大学（伊勢）

研究発表講演（200件）、特別講演（1件）、論文賞受賞講演（2件）、フォーラム（講演9件）、技術セッション（講演10件）、若手会員のためのイブニングフォーラム（ポスター発表40件）
参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成23年度溶接入門講座（第40回）

会 期 平成23年6月1日、2日
会 場 溶接学会 会議室（東京）
受講者 31名

2.2 平成23年度溶接工学夏季大学（第59回）「中堅技術者講座」

会 期 平成23年7月27日～7月29日
会 場 大阪大学大学院工学研究科岡田メモリアルホール
受講者 62名

2.3 平成23年度溶接入門講座（第41回）

会 期 平成23年11月17日、18日
会 場 広島大学中央図書館 ライブラリーホール
受講者 52名

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌80巻2号～81巻1号（8冊）

主な内容 特集、展望、レビュー&トレンド、溶接接合教室、実験指南、他

3.2 溶接学会論文集29巻2号～30巻1号（4冊）（WEB）

主な内容 研究論文42篇、Special Issue of Visual-JW2010 34篇

3.3 全国大会講演概要集 第88集および第89集（2冊）

3.4 平成23年度溶接工学夏季大学教材「溶接中堅技術者講座」

3.5 Mate2012 18th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集（マイクロ接合

研究委員会）

4. 研究活動 (定款第3条1項)

4.1 研究推進部会（小溝裕一部会長）

3回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに特別研究会、アドホック研究会の活性化を図った。また、学会活動の情報化に伴う研究委員会ホームページの拡充、研究委員会設置形態の見直し、国際化対応、第四期科学技術基本計画への対応などについて検討した。各研究委員会の将来ビジョンの検討の中から、各研究委員会のアカデミックロードマップを策定し、平成23年春季全国大会時にシンポジウムをおこなった。また、長年の検討課題であった研究委員会の内規を改定し、平成24年3月1日より施行した。

(1) 春季全国大会においてフォーラム「高信頼性Green溶接プロセス開発のための知能化技術－エコロジーとエコノミーが織りなす二つのeco－」を開催した。

(2) 秋季全国大会においてフォーラム「溶接部健全性に向けた今後の溶接冶金研究－割れ防止と靱性確保－」を開催した。

(3) アドホック研究会「FSWの品質保証に関する研究会」（安井利明主査）

平成22年度末をもって研究会は終了したが、平成23年度秋季全国大会において成果報告を行った。

(4) 溶接冶金研究委員会が中心となり、腐食防食協会との研究交流を実施した。

(5) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛めっき割れに関する研究」（中込忠男主査）

東日本大震災の影響もあり、当初の予定通りに委員会が開催できなかったが、昨年計画した化学成分、引張強さなどが異なる鋼材を短冊形に切断・曲げ加工した試験体のめっき割れ実験を信州大で行った。その結果、短冊形試験体の幅方向の大きさによりめっき割れ発生率が異なること、めっき割れ破面の詳細観察により、めっき割れ破面に先立つ位置に水素起因の割れ破面があること、溶融亜鉛めっき割れ感受性当量（CEZ）とめっき割れ発生率の関連が把握できた。また、冷間曲げ加工を行った試験体の角部内側と角部外側の結晶粒の変形の違いをアスペクト比で整理することができた。

(6) 溶接学会記念基金助成活動

「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会(佐藤 裕 主査))

下記の1st EAST-WJに若手研究者を派遣した。

①第1回日中韓ジョイントシンポジウム（1st EAST-WJ）

平成23年5月31日（火）～6月1日（水）に中国・上海にて開催された第1回日中韓ジョイントシンポジウム（1st EAST-WJ）へ講師派遣を行った。1st EAST-WJは若手に限定したも

のではないが、日本からは3名を若手講演者として派遣するとともに、今後のシンポジウムへ中国、韓国からも若手講演者を最低3名出してもらい、シンポジウムでの若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワーク形成につなげるための活動を行った。

4.2 溶接構造研究委員会（有持和茂委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第190回	23.7.22	鹿児島	19	研究報告 3件 見学会
研修会	23.9.28～29	兵庫	20	「溶接構造物の破壊安全性評価の実際」研修会
シンポジウム	23.11.15～16	大阪	171	溶接構造シンポジウム 2011
第192回	24.1.23	大阪	18	研究報告 3件

4.3 溶接法研究委員会（浅井 知委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第214回	23.5.11	東京	51	研究報告 6件
第215回	23.8.3	大阪	58	研究報告 6件
第216回	23.11.10～11	熊本	55,55	研究報告 6件 見学会
第217回	24.1.26～27	東京	75,50	研究報告 12件

4.4 溶接冶金研究委員会（篠崎賢二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第203回	23.5.16	東京	30	研究報告 6件
第204回	23.7.19	大阪	24	研究報告 5件
第205回	23.11.21～22	山口	16,13	研究報告 3件 見学会
第206回	24.1.26～27	東京	75,50	研究報告 12件

4.5 溶接疲労強度研究委員会（森 猛委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第229回	23.5.27	大阪	19	研究報告 5件
第230回	23.7.7	東京	26	研究報告 5件
第231回	23.10.14	三重	13	研究報告 1件 見学会
第232回	24.1.11	東京	19	研究報告 4件

4.6 高エネルギービーム加工研究委員会（片山聖二委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第67回	23.5.17	大阪	26	研究報告 5件
第68回	23.11.8	三重	16	研究報告 4件 見学会
第69回	24.1.17	東京	20	研究報告 6件

4.7 軽構造接合加工研究委員会（里中 忍委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第89回	23.6.17	東京	32	研究報告 5件
第90回	23.9.21	大阪	41	研究報告 6件
第91回	23.12.1	滋賀	26	研究報告 2件 見学会
第92回	24.1.24	東京	25	研究報告 5件

4.8 マイクロ接合研究委員会（齋藤重正委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第97回	23.5.27	東京	58	研究報告 5件
第51回分科会	23.7.22	大阪	50	研究報告 7件
第98回	23.9.2	京都	36	研究報告 7件
第52回分科会	23.10.28	東京	53	研究報告 7件
第99回	23.12.9	東京	56	研究報告 6件
シンポジウム	24.1.31～2.1	横浜	505	Mate2012 シンポジウム

4.9 界面接合研究委員会（鈴木暁男委員長）

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内容
第87回	23.5.20	東京	29	研究報告 5件
第88回	23.10.7	東京	23	研究報告 6件
第89回	24.1.20	東京	30	研究報告 6件

5. 国内活動（定款3条項4）

5.1 日本溶接会議（JIW）の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他（承認順）

日本学術会議材料工学委員会、日本非破壊検査協会、日本溶接協会、日本高圧力技術協会、腐食防食協会、日本機械学会、軽金属溶接協会、日本材料学会、日本金属学会、日本鉄鋼協会、日本自動車技術会、日本工学会、その他関係学協会の活動に協力した。

- (1) 協賛：(社)日本機械学会「M&M2011材料力学カンファレンス」(H23.7.15-18)
- (2) 協賛：(社)日本計算工学会「第16回計算工学講演会」(H23.5.25-27)
- (3) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第21回圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(H23.6.28-29)
- (4) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第207・208回西山記念技術講座」(H23.11.10&17)
- (5) 共催：(社)日本学術会議「第55回材料工学連合講演会」(H23.10.19-21)
- (6) 協賛：(社)日本塑性加工学会「第62回塑性加工連合講演会」(H23.10.27-29)
- (7) 協賛：日本保全学会「第8回学術講演会」(H23.7.12-14)
- (8) 共催：(社)レーザ学会「シンポジウム：パワーファイバーレーザーとそう産業応用」(H23.4.22)
- (9) 協賛：(社)腐食防食協会「第54回技術セミナー」(H23.4.22)
- (10) 後援：(社)日本建築学会「第7回構造物の安全性・信頼性に関する国内シンポジウム」(H23.10.12-14))
- (11) 協賛：(一社)日本機械学会「もう一度学ぶ機械材料学」(H23.9.16)
- (12) 協賛：(公社)自動車技術会「第9回学生フォーミュラ大会」(H23.9.5-9)
- (13) 協賛：(一社)日本接着学会「第49回日本接着学会年次大会」(H23.6.17-18)
- (14) 協賛：(一社)日本機械学会「No.11-37 第6回技術者のための技術者論理セミナー」(H23.6.11)
- (15) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第9回学術セミナー」(H23.6.21)
- (16) 協賛：(社)日本溶接協会「2012国際ウエルディングショー」(H24.4.11-14)
- (17) 協賛：(社)日本能率協会「ものづくりNext↑2011」(H23.11.16-18)
- (18) 協賛：(社)日本非破壊検査協会「第18回アコースティック・エミッション総合コンファレンス」(H23.9.26-27)
- (19) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会関西支部「関西ワークショップ2011」(H23.7.8)
- (20) 協賛：(独法)日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会「第24回プラズマ材料科学シンポジウム」(H23.7.19-20)
- (21) 協賛：DV-X α 研究協会「第24回DV-X α 研究会」(H23.8.8-10)
- (22) 協賛：ICCCI-2012実行委員会「第4回高品質材料創生に向けた界面構造の解析と制御に関する国際会議」(H23.9.2-5)
- (23) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「H23年度KAST教育講座 塑性加工基盤技術シリーズ①」(H23.10.24-25)
- (24) 後援：(社)日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会 ーガス、プラズマ、レーザ切断の勘所=」(H23.8.26)
- (25) 協賛：(公社)日本材料学会「第41回初心者のための有限要素法講演会（演習付き）」(H23.7.21-22・H23.8.9-10)
- (26) 協賛：(公社)日本材料学会「高温強度・破壊力学合同シンポジウム」(H23.11.24-26)
- (27) 協賛：(公社)日本材料学会「2011年度JCOM若手シンポジウム」(H23.9.2-3)
- (28) 協賛：(公社)日本材料学会「X線応力測定講習会（実習付き）」(H23.11.24-25)
- (29) 協賛：(公社)日本材料学会「第14回初心者のための疲労設計講習会」(H23.9.1-2)
- (30) 協賛：(一社)日本機械学会「機械の日・機械週間」(H23.8.1-7)
- (31) 後援：(一社)軽金属溶接協会「アルミニウムブレージングセミナー」(H23.9.22)

(32) 共催：日本学術会議材料工学委員会「第55回材料工学連合講演会」(H23.10.19-21)	(H23.11.12)
(33) 協賛：(社)腐食防食協会「第171回腐食防食シンポジウム」(H23.7.28)	(70) 協賛：(社)日本溶接協会「LMPシンポジウム2012」(H24.2.2-3)
(34) 協賛：(社)腐食防食協会「第173回腐食防食シンポジウム」(H23.10.13)	(71) 共催：大阪大学接合科学研究所「Visual-JW2012」(H24.11.29-30)
(35) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第63回白石記念講座」(H23.11.25)	(72) 共催：(社)日本アイソトープ協会「第49回アイソトープ・放射線研究発表会」(H24.7)
(36) 後援：(財)神奈川科学アカデミー「平成23年度KAST教育講座」(H23.11.16-17)	(73) 協賛：NEDO「鉄鋼材料の革新的高強度・高機能化基盤研究開発ー第2回シンポジウム」(H24.1.12-13)
(37) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会関西支部「第14回若手研究会セミナー」(H23.8.31)	(74) 協賛：(公社)日本材料学会「第17回分子動力学シンポジウム」(H424.6.5)
(38) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「第21回エレクトロニクスシンポジウム」(H23.9.8-9)	(75) 協賛：(一社)日本溶射学会「アジア溶射会議2012」(H245.11.26-28)
(39) 協賛：(一社)日本機械学会「No.11-82講習会 自動車における3次元設計の現状と課題」(H23.8.31)	(76) 協賛：(社)日本塑性加工学会「平成24年度塑性加工春季講演会」(H24.6.7-9)
(40) 協賛：レーザ加工学会「第76回レーザ加工学会講演会」(H23.12.5-6)	(77) 協賛：(社)日本鉄鋼協会「第209・210回西山記念技術講座」(H24.6.1.6.8)
(41) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「平成23年調査研究発表会(大阪)」(H23.9.27)	(78) 協賛：(公社)自動車技術会「衝突特性・耐久性性能と車体ロバスト設計」シンポジウム(H24.2.29)
(42) 協賛：(社)強化プラスチック協会「56th FRP CON-EX2011 講演会」(H23.11.1-2)	(79) 協賛：(一社)日本計算工学会「第17回計算工学講演会」(H24.5.29-31)
(43) 協賛：(公社)日本材料学会「第10回材料の衝撃問題シンポジウム」(H23.12.22-23)	(80) 協賛：(社)日本非破壊協会「第43回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(H24.1.23-24)
(44) 協賛：(公社)日本材料学会「第3回フラクトグラフィ講習会」(H23.11.29-30)	(81) 協賛：(社)日本金属学会「高温過酷環境を制する耐食材料セミナー」(H24.3.15-16)
(45) 協賛：(公社)日本材料学会「第8回原子レベルのシミュレーション入門講習会」(H23.12.5-6)	(82) 協賛：(社)日本非破壊協会「第15回表面探傷技術による健全性診断」(H24.2.20-21)
(46) 後援：(公社)日本鉄筋継手協会「鉄筋継手の品質確保のための監理」(H23.10.20-11.30)	(83) 協賛：(社)日本非破壊協会「第19回超音波による非破壊評価シンポジウム」(H24.1.26-27)
(47) 協賛：(公社)応用物理学会「第5回プラズマエレクトロニクスインキュベーションホール」(H23.9.19-21)	(84) 協賛：(一社)日本接着学会「第50回年次大会」(H24.6.29-30)
(48) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「HPI技術セミナー」(H23.11.10-11)	(85) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「第8回技術講演会」(H24.2.17)
(49) 協賛：(一社)日本機械学会「特別講演会 機械設計者のための粉末焼結材料の力学」(H23.12.16)	(86) 協賛：日本保全学会「第12回保全セミナー」(H24.1.31)
(50) 後援：(社)日本溶接協会「原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習」(H23.11.29)	(87) 後援：(財)神奈川科学技術アカデミー「めっき技術の最先端と新展開」(H24.1.26, 2.2)
(51) 協賛：(財)溶接接合工学振興会「第22回セミナー」(H23.10.26)	(88) 協賛：(公社)日本材料学会「腐食防食部門委員会第285回例会」(H24.3.7)
(52) 協賛：日本保全学会「第8回学術講演会」(H23.10.21)	(89) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「シンポジウム東日本大震災の教訓」(H24.4.6)
(53) 協賛：(一社)日本機械学会「魅力を設計する」講習会(H23.10.31)	(90) 協賛：(社)日本非破壊協会「第8回放射線による非破壊評価シンポジウム」(H24.2.9-10)
(54) 協賛：(公社)日本材料学会「第48回X線材料強度に関する討論会」(H23.12.2)	(91) 協賛：(公社)日本材料学会「第46回X線材料強度に関するシンポジウム」(H24.7.5-6)
(55) 協賛：(公社)日本材料学会「第31回疲労講座」(H23.12.2)	(92) 協賛：レーザ加工学会「第77回レーザ加工学会講演会」(H24.5.24-25)
(56) 協賛：(公社)日本材料学会「第15回初心者のための疲労設計講習会」(H24.1.10-11)	(93) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「ICEP-IAAC2012実装技術国際シンポジウム」(H24.4.17-20)
(57) 後援：(社)日本溶接協会「スーパーアロイの特性と溶接」(H23.12.2)	(94) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「第26回春季講演大会」(H24.3.7-9)
(58) 協賛：(一社)軽金属学会「第31回軽金属セミナー」(H23.11.25)	(95) 協賛：(社)日本非破壊協会「安心・安全な社会を築く先端材料・非破壊計測技術シンポジウム」(H24.3.23)
(59) 協賛：(公社)日本材料学会「第60期第2回分子動力学部門委員会」(H23.11.1)	(96) 協賛：(社)日本顕微鏡学会「第22回電子顕微鏡大学」(H24.4.19-20)
(60) 協賛：(一社)日本機械学会「関東支部2011年度セミナー」(H24.1.12)	(97) 協賛：(社)腐食防食協会「第175回腐食防食シンポジウム」(H24.2.14)
(61) 協賛：(公社)日本ガスタービン学会「GTSJガスタービンセミナー第40回」(H24.1.19-20)	(98) 協賛：(社)腐食防食協会「第57回技術セミナー」(H24.4.19)
(62) 協賛：(公社)日本材料学会「第3回日本複合材料合同会議」(H24.3.7-9)	(99) 協賛：(社)日本非破壊協会「第10回保守検査シンポジウム」(H24.3.9)
(63) 協賛：大阪大学接合科学研究所「東京セミナー」(H23.12.8)	(100) 協賛：(社)エレクトロニクス実装学会「関西ワークショップ2012」(H24.7.12-13)
(64) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「HPI技術セミナー」(H23.12.14)	
(65) 協賛：(一社)日本機械学会「高品位厚膜創成プロセス企画講習会」(H24.1.27)	
(66) 協賛：(社)日本防食協会「第37回腐食防食入門講習会」(H23.12.1-2)	
(67) 協賛：(社)日本防食協会「第172回腐食防食シンポジウム」(H23.10.27)	
(68) 協賛：(社)日本高圧力技術協会「第12回エネルギー貯槽等技術基準と安全性」(H24.2.9-10)	
(69) 協賛：(一社)日本機械学会「第7回技術者のための技術者倫理セミナー」	

5.3 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。

学協会名	誌名	学協会名	誌名
軽金属学会	軽金属	日本建築学会	建築雑誌
軽金属溶接協会	軽金属溶接	〃	Journal of Asian Architecture and Building Eng.
高圧ガス保安協会	高圧ガス	日本高圧力技術協会	圧力技術

電気学会	電気学会誌	日本鋼構造協会	JSSC	33	Buletin IPI	ルーマニア
電気製鋼研究会	電気製鋼	日本接着学会	日本接着学会誌	34	Serie de Metalugia	〃
土木学会	土木学会誌	日本船舶海洋工学会	日本船舶海洋工学会誌	35	Sudura	〃
			KANRIN（威臨）	36	Revista de Metallugia	スペイン
〃	土木学会論文集	〃	日本船舶海洋工学会論文集	37	Revista de Soldadura	〃
日本海事協会	日本海事協会誌	日本鉄鋼協会	鉄と鋼	38	Soldadura y Tecnologias de Union	〃
日本機械学会	日本機械学会誌	〃	ふえらむ	39	Svetsaren	スウェーデン
日本橋梁建設協会	虹橋	〃	ISIJ International	40	Schweisstechnik Soudure	スイス
日本金属学会	まてりあ	日本非破壊検査協会	非破壊検査	41	Welding & Metal Fabrication	英 国
日本溶射協会	溶射	日本溶接協会	溶接技術	42	Welding Review	〃
6. 国際活動（定款3条項4）				43	Metals Technology	〃
6.1 国際溶接学会（IIW）関連				44	Welding International	〃
日本溶接会議（JIW）の活動を支援して年間を通じ国際溶接学会（IIW）の日常活動及び第64回年次大会（インド・チェンナイ、7月17日～22日）に参加した。参加者は46カ国869名、日本からは56名(同伴者を除く)。				45	Welding Journal	米 国
6.2 アジア溶接連盟（AWF）関連の活動に参加した。				46	Welding Research Abroad	〃
6.3 次のとおり機関誌を交換し、研究情報の交流を推進した。				47	WRC Bulletin	〃
誌 名	国 名			48	CA Selects(Ceramic Materials)	〃
1 Australian Welding Research	オーストラリア			49	Avtomaticheskaya Svarka	ウクライナ
2 Revista Soldadura	アルゼンチン			50	Strength of materials	〃
3 Schweiss-& Prufung Technik	オーストリア			51	All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー			52	Zavaranie svarovani	スロベニア
5 Leurotest Technical Bulletin	〃			53	Varilna Tehnika	〃
6 Metalurgia	ブラジル			54	Metallic Materials	〃
7 Revista da Soldagem	〃			55	Science in China	中 国
8 Soldagem & Inspeccao	〃			56	地質学報	〃
9 Canadian Welder & Fabricater	カナダ			57	金属学報	〃
10 Zvaranie	チェコ			58	鋼 鉄	〃
11 Welding News	〃			59	Transactions of the China Welding Institution	〃
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド			60	冶金分析	〃
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス			61	材料科学	〃
14 Bulletin Singanaletique	〃			62	China Welding	〃
15 ciaky	〃			63	Singapore Welding Society Newsletter	シンガポール
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ			II 会 務 報 告		
17 Schweisstechnik	〃			1. 第79回通常総会		
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃			日 時 平成23年4月21日（木）		
19 Indian Welding Journal	インド			開会 午前10時00分 閉会 午前12時00分		
20 Journal of the Association of Engineers	〃			場 所 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番1号		
21 Rivista Italiana della aldatura	イタリア			学術総合センター 一橋記念講堂		
22 Korean Scientific Abstracts	韓 国			議決権を有する者：理事 20名（うち12名は代議員と兼任）		
23 大韓金属学会誌(Journal of KMM)	〃			代議員 145名		
24 大韓溶接学会誌	〃			社員総数 153名		
25 Metals and Materials	〃			出 席 37名（理事16名、代議員32名、うち11名は理事と代議員を兼任）		
26 Korean Welding Society	〃			委任状 108名（理事3名、代議員105名）		
27 Electronic Materials Letter	〃			出席社員合計 145名（社員総数153名）		
28 Lastechniek	オランダ			監 事 出席 西本和俊、黒川剛志		
29 Przegląd Spawalnictwa	ポーランド			幹 事 出席 小川和博		
30 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃			議 事		
31 Polish Engineering	〃			① 平成22年度事業報告の件 承認		
32 echnologia Qualidade	ポルトガル			② 平成22年度収支決算報告の件 承認		
				③ 監査報告 承認		
				④ 平成23年度事業計画の件 承認		

- ⑤ 平成23年度収支予算の件 承認
- ⑥ 溶接学会規則改定の件 承認
- ⑦ 定款変更案の停止条件付き
決議に関する件【特別決議】 承認
移行登記後の最初の代表理事は、定款変更案の附則第2号によって、次のとおりとなる。
会 長 高 隆夫
副会長 平田好則
副会長 中西保正
- ⑧ 新法人化関連規程の停止条件付き
決議に関する件 承認
(1) 会員種別及び入退会等規程（案）
(2) 代議員選挙規程（案）
(3) 役員選任規程（案）
- ⑨ 一般社団法人への移行認可申請に
関する件 承認
- ⑩ 事務所移転(定款変更)の件【特別決議】 承認
定款第4条の事務所所在地を「東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地」に変更する。
- ⑪ 名誉員の推薦
豊田政男
- ⑫ 特別員の推薦
宮田隆司、荅名宗春、座古勝
- ⑬ 表彰の件
溶接学会賞
西本和俊
溶接学会功績賞
藍田 勲
溶接学会貢献賞
中込忠男
溶接学会業績賞
藤本公三
佐々木賞
古賀信次、興石房樹
溶接学会論文賞並びに論文奨励賞
溶接学会論文賞
山口義博、吉田和記、上杉喜彦、田中康規、
森本茂夫、箕西幹夫、斉尾克男
溶接学会論文奨励賞
宮澤智明
田中亀久人賞
片岡時彦、池田倫正、遠藤茂、安田功一
溶接学術振興賞
林川俊郎、塚本 進、中田一博、篠崎賢二、
納富 啓
妹島賞
佐藤豊幸
溶接学会ベストオナー賞
横野泰和、長堀正幸、沼田慎治、佐野義美
溶接学会技術貢献賞
末永和之、濱田昌彦、恵良哲生
溶接技術奨励賞
北海道支部：岩淵義孝

東北支部：早坂和美，金谷貴志
東部支部：笹部誠二，結城正弘，松山秀信
東海支部：斎藤貞一郎，相原正明
関西支部：藤平正一郎，殖栗成夫
中国支部：生田明彦

溶接技術普及賞

北海道支部：小澤幸男
東北支部：野口紀雄，高橋和男
東部支部：古屋重彦，大脇桂，宮下幸雄
東海支部：有田 宏，西村定良，
関西支部：寺田昌之
中国支部：藤山賢二
四国支部：藤本俊二，寺嶋 昇

溶接学会研究発表賞

平成22年度春季全国大会：山 崎 圭， 安 藤 光，
Vondrous Petr, 河西 龍
平成22年度秋季全国大会：藤田善宏，橋本匡史，
谷口公一，小澤俊平，
塚田貴大

溶接学会シンポジウム賞

- 溶接冶金研究委員会創設50周年記念
シンポジウム賞（優秀論文賞）
才田一幸，荻原寛之，西本和俊，
木内 清，中山準平
- Mate 2011
Mate 2011 優秀論文賞
神田喜彦，大戸悠司，荻谷義治
Mate 2011 研究奨励賞
小山真司
Mate 2011 技術開発論文賞
田中健一郎，山江和幸，太田智浩，久保雅男
Jan-Hendrik KLEIN-WIELE, Peter SIMON
Mate 2011 開発奨励賞
井高志織

溶接学会奨学賞

北海道支部：伊藤進也
東北支部：栗原耕平
東部支部：李昶準，川端洋介，島田一輝，水谷 晃
東海支部：権田英修，佐波孝洋
関西支部：生島一樹，猿渡周雄，鳥形啓輔，
西岡 亮，山本将貴
中国支部：堀江祥平
九州支部：篠原統紀，石丸正太郎

- ⑭ 溶接学会フェロー認定（入会年順）
中田一博，富士明良，南二三吉，小川和博

- ⑮ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受け入れ状況及び
その活用状況報告

- ⑯ 感謝状贈呈
東北支部殿（平成22年度秋季全国大会開催担当）

2. 理事会（定例6回）

本年度の主な議題・決議事項

- (1) 「一般社団法人」への移行について
「一般社団法人」への移行については、平成24年3月1日の移

行登記を目指し、新法人化移行WGが中心となって作業を進めてきた。移行のための定款および関連規定（会員関連規程、代議員選挙規程、役員選任規程）の変更・制定について、理事会で審議・決議し、第79回通常総会に諮った。また、新会計基準への移行、会計処理規定改訂、支部通則改訂など「一般社団法人」への移行に伴う対応を審議・決議した。

(2) 財務強化について

逼迫した財政状態改善のために、財務強化委員会、企画委員会で種々の方策を検討してきた。

昨今の会員減少による会費収入減および情報化関連投資、若手活性化のための財源確保を目的として、約30年間据え置いてきた正員、学生員の年会費の値上げについて平成24年度から実施するため議論を重ね、溶接学会年会費改定に関わる規則改訂を理事会で決議し、第79回通常総会に諮った。

(3) 研究委員会内規改訂について

長年の検討課題であった研究委員会の内規改訂を決議し、平成24年3月1日より施行した。

(4) 事務所移転について

溶接・接合に関する学術・技術情報の集約化および日本溶接協会、軽金属溶接協会との連携・協力強化を図り、併せて面積縮減による事務所賃貸料の節減を図るため、日本溶接協会が建設する溶接会館に移転することを決議し、第79回通常総会に諮った。

(5) 特別研究会等活動の推進について

研究推進部会の提案に基づき、特別研究会、アドホック研究会等の活動延長について審議・承認した。それに伴い、特別研究会1件および「若手溶接技術者・研究者のグローバルネットワークの形成」委員会が活動を継続した。

(6) 東日本大震災への対応

東日本大震災で被災された会員には、会員の申し出により平成23年度会費免除することを決定した。

3. 業務委員会活動

3.1 企画委員会（南二三吉委員長）

年度内4回の委員会を開催し、「公益性のある一般社団法人」への移行に向けて、「我が国のものづくり産業に有益な学術情報の発信」、「ものづくり科学のインターフェイスとしての研究交流」が図れるよう、以下の活動基盤強化アクションプログラムを展開した。

- (1) 新法人化移行アクション：新法人化移行のための定款変更とそれに基づく代議員選挙、役員選任などの規程類の作成、及び会計基準の移行、事業内容・事業区分の整備などを行い、平成23年8月25日内閣府に移行認可申請書を提出した。平成24年2月20日、内閣府より「一般社団法人」移行の認可書を受領し、平成24年3月1日に「一般社団法人溶接学会」として移行登記した。
- (2) 財務強化アクション：会員メリットの創出と新会員獲得などによる会勢増強、財務管理強化、会費見直し、講習会の見直し・新規企画などによる収支改善に取り組んだ。全国大会については、大会情報価値を考慮して、平成23年度春季全国大会から発表登録料及び参加費を改定した。また、学会情報発信の充実などに向けて、会員年会費を改定した。
- (3) 情報システム化アクション：NII（国立情報学研究所）が

学協会のHP（ホームページ）支援を中止することに伴い、本会HP用サーバをNIIから日本印刷(株)管理のものに移管した。これまで論文集と全国大会講演概要は、J-stageにおいて広く一般公開してきたが、平成24年度より会員限定公開とすることとした（学会誌は発刊後3年経過すれば非会員にも公開）。学会誌は2006及び2007年度発行分をアーカイブ化した。また、日本溶接協会の溶接情報センターとのコラボレーションとして、溶接接合技術入門e-bookを溶接管理技術者研修会参加者にWEBを通して期間限定公開することとした。

- (4) 研究委員会アクション：平成23年度春季全国大会で研究委員会ビジョン「溶接・接合技術のアカデミックロードマップ」のシンポジウムを実施した。平成23年度よりスタートした第4期科学技術基本計画への対応として、日本学術会議の「理学・工学分野の科学・夢ロードマップ」に「安心・安全で持続可能な社会の実現に向けた溶接・接合技術の展開」を提案し、次世代溶接接合工学の重要性をアピールした。また、研究委員会の活性化に向けて、研究委員会内規を改定した。

- (5) 日中韓ジョイントシンポジウム（EAST-WJ: East Asia Symposium on Technology of Welding and Joining）：中国→日本→韓国のホスト国順で日中韓ジョイントシンポジウムを平成23年度から毎年開催することとなり、第1回を平成23年5月31日～6月2日の日程で中国・上海市で開催した。アジア溶接連盟加盟国からも参加があり、総勢100名超の参加者が集った。第2回は本会が主催し、平成24年度の秋季全国大会（関西支部）で併設して実施予定である。

また、他学協会と本会研究委員会との合同研究会（腐食防食協会プラント構成材料溶接部腐食分科会との合同研究会）、学会誌で連載している「溶接・接合教室（基礎を学ぶ）」の溶接情報センターでのWEB公開などについて検討した。

3.2 溶接情報化委員会（南二三吉委員長）

年度内2回の情報化WG会議、E-mail持ち回り会議、および、日本溶接協会（JWES）溶接情報センターとの連携により、本会活動の情報化に関する以下のような諸検討を実施した。

- (1) 学会ホームページ（HP）のサーバ移管：平成23年度末でNII（国立情報学研究所）が学協会のHP支援システムを中止することに伴い、本会HPのサーバを日本印刷(株)管理のサーバに移管した。
- (2) 科学技術振興機構（JST）でのアーカイブ化コンテンツの公開方法の見直し：本会論文集と全国大会講演概要は、現在、発刊後に非会員にも無料公開しているが、会員メリットの点から非会員との峻別を図るため、平成23年度にシステム変更を行い、平成24年度から非会員には非公開とすることとした。
- (3) 溶接学会誌のアーカイブ化：現在、2005年度発行分まで、JSTでのJournal@rchiveで広く公開している。2006年度発行分からは、各学協会でも独自にアーカイブ化することとなっている。本会は平成23年度よりアーカイブ化に着手し、23年度は2006および2007年度発行分をアーカイブ化した。なお、学会誌はこれまでNII電子図書館におい

でも、発行3年経過後は非会員にも公開していたが、平成23年度末でNIIによる情報公開支援が終了し、以降はJSTのみでの公開（非会員には発行3年経過後に公開）となる。

- (4) J-Stage（JST）の全国大会登録受付システム中止に伴う対応：平成23年度末でJ-Stageが全国大会登録受付システムを中止することとなり、日本印刷(株)に登録受付の代行を依頼することとした。
- (5) 学会保有書籍の整理：本会事務所の溶接会館移転（平成24年6月初旬に予定）に伴い、書架スペースが大幅に縮減（全体で約40%減）される。また、溶接会館内の図書館において、日本溶接協会が溶接・接合分野の図書を一括管理する計画になっている。このような背景から、本会保有書籍の整理・分別を行い、本会独自に保有すべき書籍を除き、溶接図書館への書籍移管を積極的に進めることとした。
- (6) 溶接・接合技術入門 e-book の限定公開：日本溶接協会とのコラボレーションの一環として、溶接管理技術者研修会の修了者を対象として、溶接・接合技術入門 e-book を、溶接情報センター WEB を通して期間限定公開（閲覧のみでダウンロード不可能）することとした。

HP 管理：本会 HP のトップページの一部改定、および、新着コンテンツの整備と load-up を行った。

3.3 編集委員会（廣瀬明夫委員長）

溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集及び刊行を行った。論文集はWEB論文集として発行した。溶接学会誌は年8号を刊行し、7回の特集と1回のレビュー&トレンドの企画を行った。原稿依頼の1ヶ月前倒し、著者の原稿提出に対する事務局、編集委員のフォローアップ体制の強化を行い、溶接学会誌出版時期（当該月5日）の適正化を達成した。溶接学会誌各号の記事に対する学会員モニター115名によるアンケートを実施し、学会誌の内容充実に努めた。また、平成22年のアンケート結果の取りまとめを行い、集計結果報告を Vol.80No.5 に掲載した。また、溶接接合教室－基礎を学ぶ－の続編として、一実践編－の連載を開始した。年間の学会誌掲載記事より、ベストオーサー賞候補者2件を選考した。溶接学会誌は創刊号からを対象として、科学技術情報発信・流通総合システム（J-stage）にて発行日から3年経過後に公開、溶接学会論文集は創刊号からを対象として発行直後から同サービスにて公開した。英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集に引き続き参加した。日本溶接協会の溶接情報センターのコンテンツとして溶接接合教室－基礎を学ぶ－を提供した。

3.4 論文査読・審査委員会（粉川博之委員長）

平成23年7月29日に年一回全委員が集まる定例委員会を開催した。平成18年ウェブ査読開始当初は投稿論文査読期間が著しく短縮されたが、最近では長いものもみられ、平均も少し長くなる傾向がみられるので、改善を検討中である。本年度は、論文投稿から査読完了（受理日）までの期間が6ヶ月以内の論文が全論文の88%以上、4ヶ月以内の論文約62%、最短のものでは77日で査読を完了した。なお、論文受付数は64件と、昨年度とほぼおなじであった。平成23年7月1日投稿受付分より新論文集掲載料（5頁まで52,500円、6頁63,000円、7頁78,750円、以降1頁毎に15,750円加算(税込)）に改訂されたが、その影響は見られ

なかった。

また、英文誌 STWJ（Science and Technology of Welding and Joining）の共同編集と STWJ-JWS collaboration推薦投稿を継続している。溶接学会論文の STWJ 誌への推薦は、昨年（平成22年）度は13件と目標（10件程度）と同程度であったが、本年度は3件と少なかった。

また、Visual-JW2010論文は34件を特別論文として掲載した。

3.5 全国大会運営委員会（高橋邦夫委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成23年度春季・秋季全国大会および平成24年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第88集および第89集を編集発行した。
- (3) 平成23年度秋季および平成24年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成23年度春季及び秋季大会にて実施した。

3.6 溶接教育委員会（平田好則委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成23年度溶接入門講座を2回開催した。（前掲）
- (3) 平成23年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) IIW 第 XIV 委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (5) 日本溶接協会との連携による国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの試験が1回行われた。プロフェッショナル・インタビュー、プロジェクトワーク、最終筆記試験を実施し、IWE 5 名、IWS 7 名がディプロマ資格を取得した。
- (6) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムの IIW 履修ポイントについて、IIW 特認コース WG を通してアナウンスした。
- (7) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会-教育機関（大学・高専・工業高校）の連携活動の一環として、大阪大学接合科学研究所の IIW-ATB 活動の支援を行った。

3.7 国際交流委員会（村川英一委員長）

- (1) 日本溶接会議（JIW）の活動を通じ、国際溶接学会（IIW）の活動に参画した。
- (2) アジア溶接連盟（AWF）の活動に参加した。
- (3) 日本、中国、韓国の3ヶ国ジョイントシンポジウム（EAST-WJ）の第1回を中国・上海で開催した。

4. 若手会員の会（寺崎秀紀委員長）

4.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学会振興会）

- (1) 春季全国大会イブニングフォーラム
主 題：製造現場における溶接技術の各種事例
講 演：木坂有治氏（新日鉄エンジニアリング(株)）、山田順也氏（日立造船(株)）、加藤剛氏（(株)東芝電力システム社）
日 時：平成23年4月21日(木) 17:30～19:00
場 所：学術総合センター（春季全国大会開催会場）
参加者：約30名
- (2) 秋季全国大会フォーラム

主 題：若手の研究ポスターセッションと交流会（ポスター発表40件，ポスター発表賞3件）
ポスター賞：田村康浩氏（東北大学），中新鉦貴氏（広島大学），稲垣史紀氏（大阪大学）
日 時：平成23年9月8日（木）17:10～18:50
場 所：皇學館大學（秋季全国大会開催会場）
参加者：約70名

4.2 若手会員のための研究会・見学会・シンポジウム・セミナー

- (1) 研究会・見学会（第1回）
場 所：沖縄県工業高等専門学校
日 時：平成23年6月8日（水）～9日（木）
参加者：25名
講 師：真鍋幸男氏（沖縄高専），田中学氏（大阪大学），川人洋介氏（大阪大学），北村貴典氏（九州工業大学），成田竜一氏（三菱重工），佐藤裕氏（東北大学），田代真一氏（大阪大学），瀬知啓久氏（鹿児島県工業技術センター），野村和史氏（大阪大学），藤井啓道氏（東北大学），高嶋康人氏（大阪大学），門井浩太氏（広島大学），寺崎秀紀氏（大阪大学）
- (2) 研究会・見学会（第2回）
場 所：三菱重工業株式会社 高砂クラブ
日 時：平成23年11月22日（火）13:30～17:00
参加者：15名
講 師：門井浩太氏（広島大学），三上欣希氏（大阪大学），高嶋康人氏（大阪大学）

4.3 広報および情報交換

- (1) 溶接学会誌「若手会員の会自由編集ページ」に，運営委員会，イブニングフォーラム，シンポジウムの報告等を掲載した。
- (2) 溶接学会誌の特集記事として 第80巻第6号に「今ドキのコンピュータシミュレーション」を企画・掲載するとともに，「スポットライトー若手の特集記事ー」として「溶接タマゴ」および「私の溶接履歴」を5件，「じょうほう通」を8件掲載した。
- (3) ホームページに活動報告，行事案内等を掲載した。

- (4) メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。有効登録者数約210名（平成24年2月28日現在）
E-mail投稿数約40通（平成23年3月1日から平成24年2月28日まで）

4.4 若手会員の会運営委員会

計2回の運営委員会を開催し，活動方針と企画について審議した。

- (1) 第44回運営委員会
日 時：平成23年4月21日（木）12:00～13:00
場 所：学術総合センター（春季全国大会開催会場）
出 席：23名
- (2) 第45回運営委員会
日 時：平成23年9月8日（木）12:00～13:00
場 所：皇學館大學伊勢キャンパス（秋季全国大会開催会場）
出 席：21名

5. その他の諸会合

支部長連絡会議	2
名誉員推薦審査委員会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	1
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	1
溶接学会ベストオーサー賞	1
溶接学会技術貢献賞審査委員会	1
溶接学会フェロー選考委員会	1

6. 会 勢

会員数（平成24年2月末現在）

賛助員		個人会員							団体員	
会員数	口数	名誉員	特別員	推薦会員	正員	学生員	合計	員数	口数	
347	907	33	75	10	2,577	210	2,905	36	36	